

電源立地地域対策交付金により造成した基金の公表

令和 7 年 3 月末現在

基金の名称	女川町電源立地地域対策交付金事業基金
令和 6 年度基金造成額 (交付金相当額)	—
令和 6 年度末残高 (交付金相当額)	19,057,651 円 (19,057,651 円)
基金事業の概要	<p>女川町防災広報無線デジタル化整備事業、消防団車両整備事業に充当するための基金造成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災広報無線デジタル化整備事業 ・ 防災行政無線復旧デジタル化整備工事 ・ 消防団車両整備事業
基金の処分期間	令和 8 年度末
基金事業の目標	<p>総務省の技術基準値の改定に伴い、改定前に製作された無線機は、令和 4 年 12 月以降利用できなくなることから、防災広報無線デジタル化整備事業を実施するほか、老朽化した消防団車両の更新整備を目的とし、計画的な基金運用を行うことを目標とする。</p>

基金の名称	女川町電源立地地域対策交付金事業基金
令和 6 年度基金造成額 (交付金相当額)	—
令和 6 年度末残高 (交付金相当額)	0 円 (0 円)
基金事業の概要	<p>女川町総合体育館等改修工事に充当するための基金造成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合体育館、庭球場、野球場、第二多目的運動場等の改修工事(予定)
基金の処分期間	令和 6 年度末
基金事業の目標	<p>生涯スポーツ意識の高揚と住民の健康・体力づくりへの関心を高めることを目的に、その活動の場としての施設整備を行い、総合運動場内に総合体育館、庭球場、野球場、第二多目的運動場等を整備しているが、東日本大震災により運動場内の施設も被害を受けたところであり、また、各施設とも各所に老朽化が認められる。</p> <p>よって、これらの危険箇所等を改修し、誰でも気軽に安心・安全にスポーツを楽しむ、健康的な生活を維持・増進できる環境整備が図られることにより、生涯スポーツの普及が推進されることを目的とし、計画的な基金運用を行うことを目標とする。</p>

基金の名称	女川町電源立地地域対策交付金事業基金
令和6年度基金造成額 (交付金相当額)	—
令和6年度末残高 (交付金相当額)	500,274,123 円 (500,274,123 円)
基金事業の概要	社会教育施設等の整備に充当するための基金造成。 ・ 勤労青少年センター整備事業（予定）
基金の処分期間	令和8年度末
基金事業の目標	現在、町内に設置している社会教育施設である女川町勤労青少年センターは、昭和56年3月竣工、供用開始以来、町内のコミュニティ施設として多くの町民に利用されてきたが、経年劣化が激しく、平成30年度において施設の診断調査を実施したところ、改修及びランニングに係るコストが将来的に高額となるため、現有施設を解体し、新たな社会教育施設等の整備を目指し、計画的な基金運用を行うことを目標とする。

基金の名称	女川町電源立地地域対策交付金事業基金
令和6年度基金造成額 (交付金相当額)	—
令和6年度末残高 (交付金相当額)	0 円 (0 円)
基金事業の概要	女川町地域医療センター受電設備の改修事業に充当するための基金造成。 ・ 女川町地域医療センター受電設備改修工事
基金の処分期間	令和6年度末
基金事業の目標	町内唯一の医療機関である地域医療センターは、建設後26年が経過、受電設備においては、更新推奨時期の20年度を既に経過しており、老朽化が進んでいるため今般改修工事を行う。今後も、医療・介護サービスの提供体制の安定化を図り、住民の生活基盤を支えるために、施設の維持・整備に努めることを目的とし、計画的な基金運用を行うことを目標とする。